

## 第8回 第2次日野市立図書館基本計画策定委員会 議事概要

■日 時：平成24年10月19日(金) 15時00分～17時00分

■場 所：市役所301会議室

■出席者：窪川委員、野田委員、廣澤委員、山岡委員、松尾委員（委員長）、大杉委員、  
増子委員（副委員長）、宇津木委員（館長）  
（事務局） 鬼倉、清水、佐々木、原、星

■欠席者：田中委員、長崎委員

### 1. 開会

- ・事務局より配布資料の確認

### 2. 第7回委員会の議事録について

- ・各委員にメール等で事前に送付し、ご意見により追加・修正等を行った議事録についての内容の確認を行い、各委員の承認を得た。

### 3. 骨子案について(3)

- ・配付資料「第2次日野市図書館基本計画 骨子案 目次(案)10.19 修正版」に基づき、第6回策定委員会で未検討の『第4章 7. 図書館の運営に関わること』からの検討。

#### ◆第4章 計画の内容（施策の方向性と取組項目）◆

##### (1) 図書館運営に関すること

事務局：「収集方針の公開等」について、収集方針はHPですでに公開しているので、この部分は削除したい。

委員長：「 情報公開の・収集方針等の公開」を削除するということになれば、第2次計画のセールスポイントとなるものは何か。図書館評価だけになるのではないか。

→(事務局) 計画の本文中では図書館協議会のことなどを記述していく。

ここでは、図書館評価の見直しを具体的な課題として取り上げていく目標になる。

これまでの評価形式を見直すということである。その他にも具体的な取り組みがあれば入れたい。

委員長：図書館のHPではいろいろ情報公開をしていると思うが、さらに付け加えるとしたら選定方針、廃棄の方針もあるのではないか。収集方針は、すでに実施しているということで削除すると、ここは、図書館評価しかなくなるが、それなら、タイトルを図書館評価にしてはどうか。

→(事務局) 選定方針は掲載している。廃棄方針は正式に作っていない。選定基準をどういうレベルで明記するかにもより、選定基準をつくることは次の具体的な課題としてはもっているが、ここで明記することは難しい。タイトルを情報公開にすると、計画の本文中でその他のことも記述できるので、情報公開は残したい。

委員①：ここで言う情報公開とはどういう意味か

→(事務局) 図書館の運営の市民への公開ということになる。図書館の運営の中味を発信すると

いうことではない。

コンサル：ここでいう「情報公開」がHPを想定しているのであれば、具体的に「図書館運営方法の掲載」などにして絞った方がわかりやすいのではないか。または、「開かれた図書館運営」として、本文に具体的にHPに掲載することを記載してはどうか。

委員①：そういう意味であれば、言葉の真の意味での情報公開ではない。情報公開とは、行政情報に対する住民側の知る権利を表現するものであるから用語法が違うと思う

委員②：ここでは、あえて情報公開という言葉にこだわらない方がよい。

→（事務局）「開かれた図書館運営」などにしたい。

委員長：本文を記述した上で、中味にあう適切な言葉に修正したらよい。

副委員長：中味にふさわしいタイトルを付ければよいと思う。

コンサル：「□ 施設の耐震化・修繕」と「□ 災害対策計画の作成」はダブっているようなので、一緒にまとめてはどうか。災害に対する備えのことであれば、タイトルを整理した方がわかりやすい。

副委員長：「施設の保持・保全」にしてはどうか。

→（事務局）そのように検討したい。

委員長：災害対策計画の作成とはどういうことか。貴重な資料を災害から守るということか。どんな計画か。

委員③：図書館は、避難所に指定されているのか、また、備蓄などもあるのか。

→（事務局）中央図書館は避難所に指定されている。備蓄はしていない。

委員長：危機管理マニュアルの図書館版を作るのか。市の防災計画があるので必要ないのではないか。

→（事務局）市の計画を受けて、図書館版を作りたいと思っている。システム保全も大切である。

委員①：避難所として市民を受け入れる以上、安全確保の責任があるし、備蓄も必要となってくる。また、システムや資料を保全するのであれば、この計画で載せなくても市民から見ると当たり前のことであろう。

→（事務局）来年以降に情報クラウドになることがあり、記載していきたい。

委員長：図書館は災害があったとき、資料や情報をこのように保全しますので市民の皆さんご安心くださいということを記載する。施設のことは施設の保持・保全に入れ、情報のことはICT化の中に埋め込むということでしょうか。

委員④：災害対策計画は削るのか。どちらにも入らないものもあるのではないか。

→（事務局）削るのではなく、本文を書いてから改めて考えたい。

委員④：絵巻物や古文書など、特殊な価値があるものの保存はどうするのか。IT化はできないし、施設の保持・保全にも入らない。

→（事務局）耐震化については、施設の保持・保全の中に入っている。

副委員長：日野市の図書館の中には、文化財的なものはあるのか。

→（事務局）そういうものはない。行政資料などは分散して保存している。

## （2）関係機関との連携

委員長：□の2つめは、多摩地域との連携になるが、ここは文章化してから検討することになる。

○その他

委員長：第5章、第6章は、第4章が文章化してからの検討となる。その他、今までの第3章の検討の中で懸案となっていた、基本理念の“暮らし”を漢字表記にするか、かな表記にするかということであるがどうするか。

委員①：こだわることに大きな意味は無いと思う

委員長：タイトルはひらがなの“暮らし”、基本方針の中は文章なので“暮らし”とする。

委員長：事務局で「2. 基本方針 市民が求める資料・情報」→「本や資料・情報」に修正している。  
→（事務局）市民にとってわかりづらいので、本を外に出した。

委員①：市民の立場からは、資料のみではわかりづらいので、本が入った方が良い。

委員③：本という言葉が入った方がいい。

→（事務局）資料（本・情報）などにはどうか。

委員①：それでは、資料の中に本が含まれてしまう。

委員長：本と資料にはどうか。

委員③：一般的には、資料の中に本が含まれるということとはわからない。また、「・」が多すぎる。

委員①：市民のための計画策定なので、市民に理解し易いことを最優先すべきである

委員④：本や資料で良いと思う。資料と本は別であり、資料は、本の中でも部分的なものとする。

委員②：図書と言えば本であろう。すべて図書資料でもいいのでは。

コンサル：見出しは、市民が求める図書でよいのではないか。下の項目で、詳しく説明してはどうか。

副委員長：目次なので、ここですべてを説明しなくてもよい。

委員長：「市民が求める図書を」で良いのでは。

→（事務局）基本方針も直すことになる。

館長：基本方針も図書資料にはどうか。

委員長：基本方針を、「図書資料・情報」に直し、それに合わせる。

館長：「収集・保存・提供」に統一して欲しい。基本方針の（2）を直す。

コンサル：「資料」は基本理念、基本方針にたくさん出てくるが、その他の箇所も「図書資料」に統一するのか。

委員長：基本方針の（2）だけは、市民が求めるがついているので、ここだけ「図書資料」にする。他は、「資料・情報」のままにしておく。

コンサル：用語説明で、そのあたりの微妙なニュアンスの説明ができるのか。

副委員長：用語説明で「図書資料」には、どういう説明をつけるのか。

委員長：その場合の「図書資料」は、図書と雑誌などである。

委員②：少しぐらい概念がずれていてもいいのではないか。

→（事務局）基本方針と第4章のタイトルは、違っていても良いのではないか。

副委員長：ここは、合わせておかなければならない。市民にイメージしやすい言葉ということで、ここを修正した。

委員⑤：最初に本の力を使っているので、皆の共通認識である「本」を使えば良いのではないか。汎用しすぎると混乱する。

副委員長：解説文を付ければ良いのではないか。

委員①：資料や図書資料ではなく、「本の力」にした理由は何か。

→（事務局）本は精神を体現しているもの。資料は、素材のようなもの。本とそれ以外の雑誌や新聞とは違うと考えている。

委員④：言葉一つひとつに、委員会メンバーが細切れるに意見を述べ、局部的訂正を加え過ぎると、骨子案文章化担当の書き手が全文を通して考えた、文の統一性が崩れるので、書き手の立場も尊重しないと、かえって散漫になってしまう場合もあるのではないか。

委員長：基本方針（２）は、「図書館は、市民が求める本や資料・情報…」とする。

副委員長：基本理念の２番目にも、「本」を加えるべきではないか。市民が等しく求める・・・というところなので。

委員②：なぜ、基本理念にも「本」を入れてはいけないのか。市民には理解できない。

委員長：資料という意味で、図書も含まれているからである。注釈で説明を加えることで良いのでは。

委員④：見出しなので、本を加えていくべきであろう。注釈を入れても市民は読まない人が多い。

委員長：基本理念の２番目も基本方針の（２）と同じ、「本や資料・情報」にする。第４章の２の（１）は「□ 図書資料・雑誌・新聞・視聴覚資料…」とする。

委員長：その他の修正として、基本方針（５）の「図書館は、読みたい、調べたい、学びたいという市民の意欲を引き出します」に修正する。

副委員長：「引き出す」も「呼び起こす」も一緒である。「図書館は、読みたい、調べたい、学びたいという市民の意欲を支援します」。あるいは、「市民の意欲を応援します。」ではどうか。

館長：「引き出します」も上から目線なので、「応援」の方が良い。一緒にやりましょうというイメージになる。

コンサル：支援も応援もやさしい言い方で良いが、その場合に意欲はいらぬのではないか。「市民を応援します」でよいと思う。

委員長：第４章は「５．図書館は、読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します。」「（１）読書や図書館の楽しさを伝える」で決定する。

委員③：「中央図書館を核とする身近な図書館体制の充実」は削除となっているが、よいのか。「閉館時間の検討」も削除されているようだが。

→（事務局）見出しはあったが、施策がなかったのでタイトルからはずした。

委員長：「中央図書館を核とする身近な図書館体制の充実」は良い言葉なので、文章中には入れて欲しい。

コンサル：文章の中で、キーワードとして入れていけば良い。

#### 4. 素案(計画本文)の検討(1)

委員長：本文は、次回、事前に読んでもらった上で、検討に入りたい。

#### 5. 連絡事項(事務局より)

- ・ 次回、欠席される方は、事務局へメール等でご意見をお願いしたい。
- ・ 第9回委員会は 11月2日（金）午後3:00～5:00 市役所506会議室

#### 6. 閉会

以上